

☆RIM ASIA PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No.6249 July 03, 2012

Copyright (c) 2012 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

--Tokyo, 20:00 JST 03 Jul2012

**◎NOTICE**
**○リム・石油化学レポートのご案内**

リム・石油化学レポートではナフサ価格への影響が大きく、また石油元売りの収益力を左右する石化製品相場について、上流から川下まで多種多様な製品を詳細に解説しています。これら製品群には、ベンゼン、トルエン、混合キシレンなどの芳香族製品、さらにはエチレンやプロピレン、ブタジエンといったオレフィン製品といった石化原料。

さらには、ポリエチレン、ポリプロピレンといったポリオレフィン、高純度テレフタル酸、エチレングリコール、フェノールなどの中間原料が含まれます。また、日本、中国、韓国、台湾など北東アジア、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシアなど東南アジア、さらにはインドや中東と各国の装置の稼働状況など取引に関連する情報を網羅しています。

サンプルレポートは、下記URLからご覧になれます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/report/sample/PGJ110729.pdf>

内容についてご質問がございましたら、石油化学チームまでご連絡ください。

電話：03-3552-2411、E-Mail：[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

**◎FOB SINGAPORE CARGOES (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	-Physical-	-Premium-
Mogas 97RON	+ 107.85-107.95 +	21.90/ 22.00*
95RON	+ 106.35-106.45 +	20.40/ 20.50*
92RON	+ 103.05-103.15 +	17.10/ 17.20*
Naphtha	+ 85.90- 86.00 +	-0.05/ 0.05
Jet/Kerosene	+ 113.00-113.10 +	0.00/ 0.10
Gasoil 0.001%S	+ 115.80-115.90 +	3.70/ 3.80
Gasoil 0.05%S	+ 114.50-114.60 +	2.40/ 2.50
Gasoil 0.5%S	+ 112.10-112.20 +	0.00/ 0.10
FO 180cst 3.5%S	+ 601.25-602.25 +	2.25/ 3.25
FO 380cst 3.5%S	+ 593.75-594.75 +	2.50/ 3.50

**◎SINGAPORE PAPER SWAPS (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	Jul	Aug	Sep
Naphtha	+ 85.90- 86.00 +	+ 85.60- 85.70 +	+ 85.45- 85.55 +
Jet	+ 112.95-113.05 +	+ 112.95-113.05 +	+ 113.10-113.20 +
Regrade	+ 0.85/ 0.95 +	+ 0.85/ 0.95 +	+ 1.10/ 1.20 +
Gasoil 0.5%S	+ 112.05-112.15 +	+ 112.05-112.15 +	+ 111.95-112.05 +
FO 180cst 3.5%S	+ 598.75-599.25 +	+ 593.75-594.25 +	+ 590.25-590.75 +
FO 380cst 3.5%S	+ 591.00-591.50 +	+ 586.25-586.75 +	+ 583.00-583.50 +

**◎SINGAPORE CRACK MARGINS (Against Dubai Crude Oil, in \$/bbl)**

	Jul	Aug	Sep
Naphtha	-10.20	-10.10	-10.03
Jet	16.85	17.25	17.62
Gasoil	15.95	16.35	16.47
FO 180cst	-4.00	-4.37	-4.68
FO 380cst	-5.19	-5.52	-5.80

**◎FOB SOUTH KOREA CARGOES (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	MR Cargoes	-Premium-
Mogas 92RON	+ 103.10- 103.60 +	0.00/ 0.50*

Jet/Kerosene	+ 112.65- 112.75 +	-0.35/ -0.25
Gasoil 0.001%S	+ 114.30- 114.40 +	2.20/ 2.30
Gasoil 0.05%S	+ 113.20- 113.30 +	1.10/ 1.20
Gasoil 0.2%S	+ 112.30- 112.40 +	0.20/ 0.30
Gasoil 0.5%S	+ 111.30- 111.40 +	-0.80/ -0.70
FO 380cst 3.5%S	+ 593.25- 594.25 +	2.00/ 3.00
LSFO 0.3%S	+ 719.00- 729.00 +	120.00/130.00

SR Cargoes	-Premium-	CFR Japan Parity#
Mogas 91RON	+ 105.60- 106.10 + 2.50/ 3.00*	57,857
Kerosene	+ 113.75- 114.25 + 0.75/ 1.25	61,397
Gasoil 0.001%S	+ 114.80- 114.90 + 2.70/ 2.80	62,232
AFO	+ 112.80- 113.00 + 0.70/ 0.90**	58,454
LSAFO	+ 113.40- 113.60 + 1.30/ 1.50**	58,758
LSFO 0.3%S	+ 719.00- 729.00 + 120.00/130.00	

\*Premium to FOB Singapore Mogas 92RON

\*\*Premium to FOB Singapore Gasoil 0.5%S

# in Yen/kl, Basis Nagoya

### SR Clean Tanker Freight Rates (\$/bbl)

Korea to Tomakomai	3.00-3.20	Korea to Keihin	2.70- 2.90
Korea to Nagoya	2.40-2.60	Korea to Kanmon	2.00- 2.20

### ◎FOB TAIWAN CARGOES (in \$/bbl)

MR Cargoes	-Premium-
Jet/Kerosene	+ 112.95- 113.05 + -0.05/ 0.05
Gasoil 0.001%S	+ 114.45- 114.55 + 2.35/ 2.45
Gasoil 0.05%S	+ 113.70- 113.80 + 1.60/ 1.70
Gasoil 0.2%S	+ 112.90- 113.00 + 0.80/ 0.90
Gasoil 0.5%S	+ 111.70- 111.80 + -0.40/ -0.30

### ◎CFR CHINA CARGOES

Crude Basket Price for China Products (\$/bbl)

Dubai	Cinta	DTD Brt	Average price	Volatility
95.73 +	103.25+	97.96 +	97.31 -	-9.36%

\*The average price of Dubai, DTD Brent, Cinta, to which the Chinese government refers when adjusting domestic retail prices for refined products. The government could adjust products prices when volatility of weighted-average price for the last 22 days fluctuates more than 4%.

(FO in \$/mt, Others in \$/bbl) (Yuan/mt) (Yuan/mt)

	-Premium-	-Import Cost-	-Domestic-
<b>EAST CHINA</b>			
Mogas 93RON***	+ 104.90-105.00 + 1.80/ 1.90	8,284	8,800-8,850
Gasoil 0.05%S*	+ 114.90-115.00 + 2.80/ 2.90	7,473	7,350-7,400
<b>SOUTH CHINA</b>			
Mogas 93RON***	+ 105.40-105.50 + 2.30/ 2.40	8,316	8,500-8,550
Gasoil 0.05%S*	+ 115.40-115.50 + 3.30/ 3.40	7,501	7,200-7,250
FO 380cst 3.5%S**	+ 604.25-605.25 + 13.00/14.00	5,465	+ 4,500-4,550 +

--Exchange rate (MIDDLE Yuan/\$ as of Jul 03) 6.3178

\*Yuan/mt prices for Gasoil include 0% duty, 17% value added tax and Yuan 940.8/mt consumption tax.

\*\*Yuan/mt prices for FO include 1% duty, 17% value added tax and Yuan 812/mt consumption tax.

# China gasoil Domestic prices are of 0.035%S grade.

## China FO Domestic prices are of bunker use grade.



**©FOB ARABIAN GULF CARGOES (Naphtha and HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

				-Premium-
Naphtha	+ 759.75-	760.75 +	12.00/	17.00
Kerosene	+ 109.70-	109.80 +	1.30/	1.50
Gasoil 0.5%S	+ 108.80-	108.90 +	1.80/	2.00
FO 180cst 3.5%S	+ 590.75-	591.75 +		

**©FOB INDONESIA MIXED/CRACKED LSWR CARGOES (in \$/bbl)**

	-Physical-	-Premium-
LSWR 0.35%S	+107.75-107.85 +	6.00/ 7.00*
Expected PPF	+101.25-101.35 +	

\*Premium to Pertamina Price Formula

**©CFR JAPAN MR CARGOES (Naphtha and HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

			-Yen/kl-	-Premium-
Naphtha	+ 789.50-	791.50 +	44,561	3.00/ 4.00
Aug 2nd-half	+ 793.00-	793.50 +		
Sep 1st-half	+ 791.00-	791.50 +		
Sep 2nd-half	+ 789.50-	790.00 +		
Jet/Kerosene	+ 114.35-	114.55 +	57,973	1.35/ 1.55
Gasoil 0.001%S	+ 116.20-	116.30 +	58,885	4.10/ 4.20
LSWR 0.2%S	+ 111.50-	111.60 +	56,504	9.75/ 10.75*
FO 180cst 3.5%S	+ 613.00-	614.00 +	47,429	14.00/ 15.00
LSFO 0.3%S	- 739.00-	749.00 -	55,720	140.00/150.00
--Exchange rate (TTS Yen/\$ as of Jul 03)			80.53	

\*Premium to Pertamina Formula

**©FOB JAPAN MR CARGOES (HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

			-Yen/kl-*	-Premium-
Jet/Kerosene	+ 112.55-	112.65 +	56,327	-0.45/ -0.35
Gasoil CARB DIESEL	+ 114.60-	114.70 +	57,353	2.50/ 2.60
Gasoil 0.001%S	+ 114.30-	114.40 +	57,203	2.20/ 2.30
FO 380cst 3.5%S	+ 588.25-	591.25 +	45,730	-3.00/ 0.00
--Exchange rate (TTM Yen/\$ as of Jul 03)			79.53	

\*Yen/kl prices exclude Yen 2,040/kl refund.

**©ASIA BUNKER PRICES (\$/mt)**

	180cst	280cst	380cst	MDO
Japan*				
Tokyo Bay*	638.00-641.00	635.00-638.00	628.00-631.00	835.00- 845.00
West Japan*	642.00-645.00	639.00-642.00	632.00-635.00	835.00- 845.00
Ise Bay*	640.00-643.00	637.00-640.00	630.00-633.00	835.00- 845.00
#Rim Average-Jul	639.50	636.50	629.50	850.00
S. Korea*	+632.00-637.00++	+628.00-633.00++	+617.00-620.00+	871.00- 881.00
Taiwan*	-646.00-646.00-		-634.00-646.00+	878.00- 878.00+
China				
Dalian***	+645.00-648.00+	-	-	+1,030.00-1,040.00+
Shanghai***	+635.00-638.00+	-	+605.00-608.00++	+1,030.00-1,040.00+
Qingdao***	+657.00-659.00+	-	+627.00-630.00++	+1,030.00-1,040.00+
Hong Kong*	+605.00-607.00++	+602.00-603.00++	+595.00-597.00+-	730.00- 740.00-
Singapore*	+602.00-604.00++	+598.00-599.00++	+588.00-590.00++	825.00- 835.00+
Bangkok*	+633.00-635.00+	-	+608.00-610.00+	905.00- 915.00

--Note: \*Delivered, \*\*\*LDO,

#Rim Tokyo Bay average

**◎ASIA PRODUCTS MARKET COMMENTARY**
**○日本向け輸入試算値(前日比、円/kl)**

91RONガソリン(△1259)、ナフサ(▼130)、ジェット燃料油(△234)、灯油(△231)、硫黄分10ppm軽油(△178)、A重油(△181)、LSA重油(△181)、クラックドLSWR(▼167)、硫黄分3.5%重油(△227)、硫黄分0.3%重油(▼185)

**○日本積み輸出試算値(前日比、円/kl)**

ジェット燃料油(△231)、CARB DIESEL(△178)、硫黄分10ppm軽油(△179)、硫黄分3.5%重油(△562)

**○GASOLINE:**

台湾中油(CPC)は2日、8月1~31日積み92RONガソリン3万トンの販売入札を開示した。スペックに制限はなく、買い手の要望あるいは価格に応じて決定する。応札の締め切りは4日、応札価格の有効期限は6日。CPCは前回、7月積みとして92RONガソリン(CPCまたはベトナム向けスペック)3万トン販売した。BPがシンガポール市況(92RON)に対し1.00~1.10ドルのプレミアムで落札した。中国からのガソリン輸出が大幅に減少しているため、域内では供給引き締め感が出ている。輸出採算の悪化を受け、中国の石油会社はガソリンの輸出を抑えている。4~5月に続き、6月のガソリン輸出量も15万トン以下にとどまるという。中国の国営石油会社は、輸出採算が回復しない以上、国内で販売する方針だ。

シンガポール積み92RONガソリンの固定価格相場は103.05~103.15ドルと、前日から2.80ドル急伸した。ナフサ先物価格が値上がりしたうえ、ガソリンの対ナフサプレミアム上昇が相場を一段と押し上げた。7月きりナフサ先物価格は85.95ドルと、前日を2.20ドル上回った。市況連動相場はナフサのスポット市況に対し17.10~17.20ドルのプレミアムと、前日から60セント上昇した。

**○ONAPHTHA:**

アジアのオープンスペック・ナフサの固定価格は789.5~791.5ドルと前日比18.25ドル続伸した。原油価格の一段高やアジアでナフサクラッカーの稼働が徐々に上がっていることなどが影響した。台湾のフォルモサ石油化学が同社の全ナフサクラッカーが停止した6月に瞬間的にエチレンのスポット買いに動いたこともあり、韓国や東南アジアでナフサクラッカーの操業が上がっている。6月下旬にはYNCCを除く韓国の大手石化がナフサクラッカーの稼働率を100%に上げた。さらに7月からは湖南石化傘下のマレーシア・タイタン石化が同国パシグダンにあるナフサクラッカー(2基合計エチレン年産73万トン)の稼働率を90%から100%に上げたもよう。

フィジカルのスポット取引は韓国のLGケムが8月前半着のMR船型のオープンスペックグレード(パラフィン70%)カーゴを購入した。価格はデサン向けがカーゴ到着の30日前の評価でスポットの日本市況に対し3.25~3.5ドルのプレミアムと伝えられている。前日2日市場では湖南石化が8月前半ヨウス着カーゴを同2ドルのプレミアムで買い付けていた。デサン着価格は条件が同じ場合、ヨウス着より通常50セント~1ドル高い。

マレーシアのタイタン石化は8月11~15日パシグダン着フルレンジナフサ5万トンをスポットで購入した。価格はスポットの日本市況に対しフラット近辺と伝えられている。同社は先週、8月5~10日着フルレンジナフサ5万トンをスポットで調達。価格は同1~1.5ドルのディスカウントだった。

6月30日に再開された台湾のフォルモサ石化(FPCC)の第2ナフサクラッカー(エチレン年産103万トン)は稼働率が80%に回復している。同社の第2ナフサクラッカーと第3ナフサクラッカー(エチレン年産120万トン)は6月20日に、台風による電力の供給障害で緊急停止された。第1ナフサクラッカー(エチレン年産70万トン)は6月19日から定修のため停止されており、8月5日に再開される。第3ナフサクラッカーは7月10日頃に再開される予定だ。ただ第2クラッカーは8月中旬から3週間程度、整備点検のため再び停止される。FPCCのナフサクラッカー3基の平均稼働率は2月と3月が90%、4月が95%、5月が80%、6月が35%程度となった。6月着からストップしているFPCCによるナフサのスポット買付けは今後もしばらく行われな見通しだ。

指標となるインターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油相場はアジア時刻時間で、9月が前日比1.40ドル高の97.59ドルに続伸した。オープンスペック・ナフサ相場は8月後半着が793~793.5ドル、9月前半着が791~791.5ドル、9月後半着が789.5~790ドルとなった。アウトライト取引は前日から一転して買いが浮上するものの、これに対応する売りが見られなくなった。買値は9月前半着で782ドル、9月後



半着で780ドルなど低い価格が見られた。

タイミング・スプレッドの相場は8月後半/9月後半スプレッドが3.5ドルのバックワーデーションとなり、前日から2ドル拡大された。ナフサ価格とブレント原油価格とのクラックスプレッドは9月ブレント/9月前半ナフサがトンあたり59.5ドルと前日から8.5ドル上昇した。

インドのバハラト石油 (BPCL) が8月10~12日ムンバイ出しナフサ3万5,000トンの販売入札を開示した。入札の締め切りは7月5日、価格の有効期限は同6日に予定されている。BPCLの前のムンバイ出しナフサの販売入札は7月25~27日積みカーゴがユニペックにスポット中東市況対比約17ドルのプレミアムで落札されていた。

北西ヨーロッパ (NWE) のナフサ・スワップ相場はアジア時間で、7月が前日比19.5ドル高の780~782ドルに続伸した。8月と9月はそれぞれ771.5~773.5ドル、772.5~774.5ドルとなった。アジア/NWEのナフサ・スプレッドは9月前半アジア/8月NWEが18.75ドルのアジア高となり、前日比6ドル拡大された。

### ○JET/KEROSENE:

台湾積みジェット燃料油 (MR船型) の市況連動相場は、シンガポール市況に対し5セントのディスカウント~5セントのプレミアムと、前日から5セント下落した。フォルモサ石油化工 (FPCC) は3日、8月1~5日積みジェット燃料油30万バレルを入札で販売した。中国の石油会社が、FOBで同市況に対しフラット~5セントのプレミアムで落札した。香港地域に仕向ける公算が大きい。8月積みカーゴの商談が始まったばかりで、プレーヤー筋は様子見ムードが強い。先行き市況に不透明感があり、需要家は買値を抑えているため、台湾製ジェット燃料油の相場もやや後退した。既報のとおりFPCCは、今回の分を含め8月積みジェット燃料油をMR船型2カーゴ販売する公算が大きい。

シンガポール積みジェット燃料油の固定価格相場は113.00~113.10ドルと、前日から80セント上伸。先物価格の値上がり連動した。7月きり先物価格は113.00ドルと、前日を80セント上回った。市況連動相場はスポット市況に対しフラット~10セントのプレミアムと、前日から横ばいとなった。

最新の成約は次の通り

\*8月1~5日・台湾積みジェット燃料油・30万バレル、フォルモサ→中国石油会社、シンガポール市況+5セント

### ○GASOIL:

韓国積み0.001%S軽油 (MR船型) の市況連動相場は、シンガポール市況 (0.5%S) に対し2.20~2.30ドルのプレミアムと、前日からもち合い。8月積みカーゴの商談に移っているものの、石油各社は様子見の気配だ。市場関係者によると、S-オイルは8月積みでMR船型2~3カーゴを販売するとみられる。現時点では、いずれも0.001%S品になりそう。アジア域内では、BPやシェルなどの石油メジャーが、豪州向けとして0.001%S軽油の調達を続けている。シンガポールで製油所の定修が始まるため、域内の需給引き締め感が続くとの見方が出ている。一方、コスモ石油が7月に続き、8月着でも軽油を輸入する公算が大きい。千葉製油所 (日量22万バレル) が定修や常圧蒸留装置の不具合で、稼働が全面的に止まっているためだ。

中国華東着・0.05%S軽油 (MR船型) の市況連動相場は、シンガポール市況 (0.5%S) に対し2.80~2.90ドルのプレミアムと、前日からもち合った。華東地区の0.035%S軽油の国内価格 (一次基地出し) はトンあたり7,350~7,400元と、前日から横ばいとなった。

シンガポール積み0.5%S軽油の固定価格相場は112.10~112.20ドルと、前日から70セント強含んだ。先物価格の値上がりを受けた。7月きり先物価格は112.10ドルと、前日を70セント上回った。市況連動相場はスポット市況に対しフラット~10セントのプレミアムと、前日と同水準に推移した。

### ○LSWR:

インドネシアのクラックドLSWRのFOB固定価格は前日比65セント続伸した。シンガポールの重油価格の一段高を受けた。ただLSWR相場の基調は、日本の輸入が低調なため総じて軟調だ。日本の一部輸入業者は、この時期として例年よりやや早い8月後半着の買いに動いているといわれる。これは、需要期入りを目前にしながらい日本向け販売価格が上昇しておらず割安感が出ているためだ。ただスポット輸入の数量自体は非常に限られており、足元の供給潤沢感が解消されていない。インドネシア産KSWR・V1,250が日本着ベ-

スでシンガポールの180cst重油のスポット市況に対し140ドル以下のプレミアムでオファーされているとの情報が伝えられている。輸入業者はこのカーゴを購入した場合に日本で独自にブレンドすることが必要だが、オファー価格はコストを下回っている。

7月30日～8月10日積みに適用されるプルトミナの価格フォーミュラ (PPF) 推定値は前日から65セント高の101.30ドルに続伸した。市況連動相場は前日と同水準となりPPFに対し6～7ドルのプレミアムとなった。3日時点で算出されるインドネシア積みクラック DLSWRの価格は107.75～107.85ドルとなる。

### OFUEL OIL:

日本着0.3%S重油 (MR船型) の市況連動相場は、シンガポール市況 (180cst) に対し140～150ドルのプレミアムと、前日から5ドル下落。需要低迷を受け、相場は下げ足を早めている。元売り1社が、8月上旬に東京湾着となる0.3%S重油MR船型1カーゴを購入した。価格はCFRで同市況に対し140ドル (密度0.95換算) 前後のプレミアムと伝えられた。一部市場関係者からは、CFRで同市況に対し140ドル以下のプレミアムとの指摘も聞こえる。一方、インドのエサール石油は3日、7月29日～8月2日積み0.3%S重油 (密度0.95) 4万2,000トンの販売入札を開示した。応札の締め切りは5日、価格の有効期限は6日。同社は前回、7月11～15日積みとして初めて0.3%S重油 (密度0.96、動粘度150cst) を販売した。数量は4万～4万5,000トン。トラフィギュラが、FOBで同市況に対し75～80ドルのプレミアムで落札した。また、マレーシアのペトロナスも、7月後半積みストレートラン重油 (密度0.91前後、硫黄分は0.3%以下) 12万バレルを販売している。

中国華南着・3.5%S重油 (LR船型、シンガポール製) の市況連動相場は、シンガポール市況に対し13.00～14.00ドルのプレミアムと、前日から横ばいとなった。広東省・黄埔地区の輸入重油の国内再販価格はトンあたり4,500～4,550元と、前日から変わらず。この価格は輸入コストを940元 (148.78ドル) 下回る。一方、上海期貨交易所の8月きり重油価格は4,525元となった。

シンガポール積み180cst重油の固定価格相場は601.25～602.25ドルと、前日から3.00ドル上伸。先物価格の値上がり相場上昇を主導した。7月きり先物価格は599.00ドルと、前日を4.75ドル上回った。市況連動相場はスポット市況に対し2.25～3.25ドルのプレミアムと、前日から1.75ドル下落した。シンガポール製180cst重油に対する売唱えは、スポット市況に対し4.50ドルのプレミアム。これに対し、買唱えは、1.00ドルのプレミアムが聞かれた。

シンガポールのペーパーズワップ相場は180cstアウトライトが取引の中心となる7月バランスで前日比4.75ドル高の599ドルに続伸した。一方380cstは7月バランス・ペーパーズワップ価格が同9ドル高の591.25ドルとなった。180cstのタイミング・スプレッドは7月バランス/8月スプレッドが5ドル、8月/9月スプレッドが3.5ドルとそれぞれ前日比75セント縮小された。ドバイ原油と180cstのクラックスプレッドは7月バランスがマイナス4ドルと前日から1.41ドル続落した。

### ◎ASIA BUNKER MARKET COMMENTARY

#### ○JAPAN:

日本のバンカー重油の相場は前日から横ばいとなり380cstが628～631ドル、西日本で632～635ドルとなった。日本の相場は需要不振の影響で値上がりが重い。380cst (500トン以上対象) 売唱えは京浜で628～640ドル、西日本で634～650ドルが聞かれた。京浜で380cst800トンが628ドルで売買された。また松浦では380cst400～500トンの引合いが浮上した。

2日市場では京浜で380cst300トンが627ドル、西日本で380cst300トンが640ドル近辺で成約されたと伝えられている。

リムのバンカー重油価格 (京浜) の7の月間平均推定値は3日時点で380cstが629.5ドルとなる。これは前月より1.62ドル高い。

#### ○SOUTH KOREA:

韓国積みバンカー重油は380cstが617～620ドルと前日から9ドル上昇した。原油高に加え引合い増も影響した。現地時間17時時点の380cst売唱えは現代が617ドル、SKエナジーが619ドル、GSカルテックスが620ドルとそれぞれ前日から6～10ドル値上された。ただ対象が大ロットについてはS-オイルが610ドル前後と前日比3ドル高で対応可能という。

#### ○SINGAPORE:

シンガポールのバンカー重油の相場は380cstが前日比5ドル高の588～590ドルに続伸した。カーゴ市況高に連動した。380cst売唱え(デリバード)は現地時間17時の時点で589～595ドルが聞かれた。ただ380cstに対し585ドル前後の積極的な売りが出ている一との情報も聞かれた。EXワープの380cst相場は597～599ドルと前日比6ドルの続伸。トレーダーの販売対象は、多くが7月6日積み以降となった。

**◎MARKET NEWS**
**○韓国＝石油各社の製油所平均稼働率、89.9%に下落**

RIM調べによると、韓国石油各社の合計の原油処理量は3日時点で日量254万5,000バレルと、前週から1.0%下落した。市場関係者によると、GSカルテックスは、ヨウス製油所(日量75万バレル)の稼働率を前週比2.7%減の日量71万バレルに削減。現代石油は、デサン製油所(同39万バレル)の稼働率を1.6%減の同31万5,000バレルに引き下げた。全社の常圧蒸留装置の実働能力は日量283万バレル。平均の製油所稼働率は実働能力に対し89.9%と、前週から0.9ポイント低下した。

日付	SK ENERGY	GS CALTEX	S-OIL	HYUNDAI	平均
能力(1,000b/d)	1,115	750	575	390	
稼働率					
07/03/12	89.7	94.7	90.4	80.8	89.9
06/26/12	89.7	97.3	90.4	82.1	90.8
06/19/12	89.7	97.3	90.4	82.1	90.8
06/12/12	89.7	97.3	90.4	82.1	90.8

**○中国＝石油3社製油所の平均稼働率は81.1%に上昇**

RIM調べによると、中国石油化工(SINOPEC)、中国海洋石油(CNOOC)、中国石油天然気(PETROCHINA)が操業する主要製油所合計の原油処理量は7月前半の平均で日量603万バレルと、6月後半(574万バレル)から5.1%上昇した。製油所3社が6月末に定修明けした。ただ、複数製油所が石油製品市況の軟調を受け、稼働を引き下げている。SINOPECは、さらに系列の石油会社に対し稼働引き下げを要求している。また、国際原油価格の続落を受け、政府が7月中に石油製品の統制価格を引き下げる公算が大きい。石油3社の常圧蒸留装置の公称能力は日量744万バレル。製油所の平均稼働率は公称能力に対し81.1%と、同期から3.9ポイント上昇。

製油所名	能力 (b/d)	定期修理および稼働状況
<b>SINOPEC</b>		
上海石化	280,000	CDU(12万b/d)、6月末に定修明け。
武漢石化	170,000	6月5日～7月20日、定修のため全面停止。
齊魯石化	250,000	10月に定修予定。
青島石化	100,000	7月30日から、定修のため全面停止する。期間は45日。
茂名石化	270,000	稼働引き下げ。

<b>PETROCHINA</b>		
吉林石化	200,000	6月末に定修明け。
大港石化	110,000	6月末に定修明け。

製油所名	所在地	能力 (b/d)	稼働率 (%)	
			7月前半	6月後半
<b>SINOPEC</b>				
鎮海石化	浙江省寧波	460,000	95.0	95.0
上海石化	上海	280,000	81.0	46.0
金陵石化	江蘇省南京	360,000	73.0	73.0
高橋石化	上海	226,000	97.0	97.0
揚子石化	江蘇省南京	180,000	94.0	94.0
福建煉化	福建省泉州	240,000	76.0	76.0
武漢石化	湖北省武漢	170,000	0.0	0.0
九江石化	江西省九江	130,000	69.0	76.0
長嶺石化	湖南省岳陽	160,000	88.0	94.0
燕山石化	北京	320,000	71.0	71.0
青島煉化	山東省青島	200,000	104.0	100.0

洛陽石化	河南省洛陽	200,000	73.0	73.0
天津石化	天津	310,000	81.0	81.0
濟南煉化	山東省濟南	100,000	82.0	85.0
石家煉化	河北省石家	100,000	80.0	80.0
齊魯石化	山東省シ博	250,000	82.0	86.0
青島石化	山東省青島	100,000	77.0	77.0
広州石化	広東省広州	310,000	78.0	78.0
茂名石化	広東省茂名	270,000	87.0	95.0
海南煉化	海南省	160,000	110.0	110.0
湛江東興	広東省湛江	100,000	98.0	98.0

**CNOOC**

惠州煉化	広東省惠州	240,000	101.0	101.0
------	-------	---------	-------	-------

**PETROCHINA**

広西石化	広西欽州港	200,000	94.0	94.0
大連石化	遼寧省大連	410,000	86.0	89.0
撫順石化	遼寧省撫順	230,000	63.0	63.0
大連西太石化	遼寧省大連	200,000	79.0	80.0
錦州石化	遼寧省錦州	150,000	83.0	90.0
錦西石化	遼寧省葫芦島	140,000	81.0	81.0
吉林石化	吉林省吉林	200,000	88.0	0.0
大慶石化	黒龍江省大慶	140,000	63.0	63.0
大慶煉化	黒龍江省大慶	140,000	65.0	65.0
蘭州煉化	甘肅省蘭州	220,000	103.0	103.0
大港石化	天津	110,000	80.0	0.0
独山子石化	新疆	320,000	62.0	62.0
烏魯木齊石化	新疆	110,000	80.0	80.0

合計		7,436,000	81.1	77.2
----	--	-----------	------	------

**OEIA=米ガソリン小売価格は13週続落、前年比6.2%安 7月2日**

米エネルギー情報局（EIA）の週間調査によると、2日時点の無鉛レギュラーガソリンの小売価格（セルフサービス、税込み）は全米平均で前週比8.1セント（2.4%）安の1ガロン3.356ドルと13週連続で下落した。前年同期比で22.3セント（6.2%）安。ディーゼルの小売価格は前週比3.0セント（0.8%）安の3.648ドルと12週連続で下落、前年同期比では20.2セント（5.2%）安となった。ガソリン、ディーゼルともに4月23日時点から小売価格が前年の水準を下回っている。

**○ [ICE建玉週報] 北海ブレント原油、マネージドマネーの買越しは減少 6月26日**

インターコンチネンタル取引所（ICE）が2日発表した2012年6月26日時点の建玉明細（コミットメント・オブ・トレーダーズ・レポート、COTレポート）によると、ヘッジファンドなど資金運用を目的とする「マネージドマネー」による北海ブレント原油先物の買い越しは3万7,816枚（1枚=1,000バレル）と前週比で7,829枚減少した。一方、スワップディーラーは11万3,782枚の買い越しと前週比2万3,543枚増加した。

オープン・インタレスト（取組高）は119万7,217枚と1万1,224枚の減少。当業者のポジションは買い玉、売り玉ともに増加した。

**○ 関西電=3日時点で停止の火力設備は6基・286万キロワット、石油は5基・241万kW**

関西電力が3日時点で整備作業などのため運転を停止している火力発電設備は6基・286万キロワットとなっている。内訳は石油火力5基・241万キロワット、LNG火力1基・45万キロワット。前日の4基・203万キロワットから2基・82万キロワット増えた。

出力抑制中の火力設備は前日に続きゼロ。

**○ NYMEX天然ガス=8月限は強弱材料交錯し、横ばい 7月2日**

2日のNYMEX市場で天然ガス先物は、期近の8月限は先週末から横ばいの2.824ドル/百万Btuで引けた。今週末以降、ガス需要の主要消費地である米北東部および中西部では暑さが和らぎ、冷房用需要が減少すると



見られている。一方、市場関係者は、今週発表される米天然ガス在庫量の増加幅が、前年同週や過去5年の平均を大幅に下回ると予想しており、強弱材料が交錯し、小幅な値動きとなった。今週発表される、29日時点の米天然ガス在庫量は、前週から520億立方フィート前後、増加すると予想されている。前年同週は840億立方フィートの増加、過去5年の同週の平均は850億立方フィートの増加だった。ICEフューチャーズによると、ヘンリーハブ現物市場での翌日渡しの相場は先週末比0.35セント安の2.7341ドル/百万Btuで引けた。

ICE天然ガスは続伸。8月限は55.67ペンス/サームと先週末比0.10ペンス高で引けた。現行の1.5690ドル/ポンドの相場を基にすると、ドルベースの百万Btu換算値は8.735ドルと先週末から1.3セント高。オランダからの輸入が減少する一方、ベルギー向けの輸出需要が増加し、英国内の需給が引き締まったことが要因。最新のナショナルグリッドのデータによると、1日の当日渡しの現物相場(SAPシステム平均価格)は、55.66ペンス/サームと前日比0.34ペンス安、ドルベースの百万Btu換算値は8.733ドルと前日比5.6セント安で引けている。

### ○電子商取引用の石油輸入製品の税制優遇、7月1日から本格施行

口知識経済部は、4月19日に発表した「石油製品市場の競争促進と流通構造改善策」に続く施策として、「電子商取引用の石油輸入製品の税制優遇策」を本格的に実施すると明らかにした。

2012年7月1日～12月31日までの6カ月間、電子商取引用の輸入ガソリン・軽油を対象に割当関税(0%)を適用(現行本関税3%)

2012年7月1日～2014年6月30日の2年間限定で、電子商取引用の石油製品の輸入賦課金(リットル当たり16ウォン)を還付

#### バイオディーゼルの混合義務緩和について

2012年7月1日から電子商取引を通じた取引の際、輸入業者ごとに軽油輸入量30万キロリットルまではバイオディーゼルの混合義務を免除する

#### 4月19日発表の電子商取引活性化案の主な内容

電子商取引用の輸入製品に対し0%の割当関税(現行は3%)を適用、リットル当たり16ウォンの石油輸入賦課金の払い戻し

電子商取引用の輸入製品に対し、バイオディーゼルの混合義務(現行は輸入量15万キロリットル以上に適用)の免除

その他、電子商取引用の輸入製品に対し、税額控除率を現行の0.3%から0.5%に上方修正、

#### 取引保証金の要件緩和など

##### 改正法案の通常国会上程(9月)

ガソリンや軽油を輸入する業者は、電子商取引で販売したあと、韓国取引所(KRX)に割当関税の適用を申請。KRXが発行した推薦書を関税庁に提出することにより、0%の割当関税の適用が受けられるようになる。また、韓国石油公社の石油管理院が発行する払い戻しの対象となる製品の確認書を提出すると、石油輸入賦課金が還付される。

現在、15万キロリットル以上の軽油を輸入した業者に課されるバイオディーゼルの混合義務について、30万キロリットル以上に拡大することで、輸入会社の義務も軽減される。

これを受け、電子商取引を介して供給されるガソリンはリットルあたり38ウォン(割当関税22円、輸入賦課金16円)、軽油は同40ウォン(割当関税24円、輸入賦課金16円)の値下げ効果が期待される。

韓国石油公社が、輸入ガソリンと軽油の電子商取引を活用し、格安スタンドに対する供給元を多様化することで、価格がより安くなると予想される。

輸入業界と韓国取引所は7月の税制優遇策の強化に備え、6月から輸入製品を保税区域に積み上げ、電子商取引のマーケティングおよび決済手続きを学ぶなど、事前準備を進めてきた。

最近、電子商取引の取引量が大幅に拡大している。市場開設以来、計1,071万リットルあった取引量の47%に相当する、506万リットルが6月中に取引された(4月の約2倍に増加)

一方、石油管理院は、6月の輸入品を厳密に検査した結果、すべて国内流通に適したものと確認された。

知識経済部エネルギー資源室長は、「優遇策の効果が流通マージンに吸収され、消費者価格の引き下げにつながらないことのないよう、取引価格と流通マージンを厳密に監視する」と話した。

電子商取引の流通秩序を阻害すると判断される場合、割当関税の推薦資格を制限したり(割当関税推奨要領)、輸入賦課金の還付を留保する

今後、7月末までに段階的に、系列外から仕入れた製品を販売するガソリンスタンドが、電子商取引に参加するのに伴い、電子商取引がより活性化するとみられている。



RIMアジア石油製品レポートの転送は著作権により強く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、法的手段を講じたうえで、罰金を請求します。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

RIM URL: [www.rim-intelligence.co.jp](http://www.rim-intelligence.co.jp)

--Editorial and Subscription Inquiry: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax: (81) 3-3552-2415 e-mail: rim@gol.com Singapore--Tel (65)-6345-9894 Fax (65)-6345-9894 Beijing--Tel (86) 10-8527-1630 Fax (86) 10-6428-1725 India--Tel: (91)-98795-50717 Seoul--Tel: (82) 2-723-0717 Fax: (82) 2-723-4563

RIM Asia Products Intelligence Daily is a copyrighted publication. No portion of this publication may be photocopied, reproduced, retransmitted, put into a computer system or otherwise redistributed without prior written authorization from RIM INTELLIGENCE CO.